

# いのちの言の葉2022

富山県教育委員会 令和4年度いのちの教育総合支援事業

## 「いのちの授業（助産師）」

魚津市立東部中学校（令和5年2月実施）



- ・いのちの始まりとは
- ・赤ちゃんが生まれる
- ・生きる力とは
- ・楽しく生きるために

今はまだ他人事のように思えますが、あと10年もたてば自分が赤ちゃんを産む立場になると考えると、しっかりと知識をもちたいと思いました。いつか母親になるということは、いのちを自分が生み出すということになるので、責任が重いなと思いました。

今あるいのち、親からもらって13年育ててもらったことに感謝し、これからも過ごしていきたいです。

妊娠中の変なさや出産のエピソードを聞きました。想像以上に大変そうで、少し怖かったのですが、何よりいのちの大切さを知っているから、頑張って守っていかうという思いになるのだと感じました。

いのちは、どんどんつながっていくリレーのようなもので、大切なこと。家族みんながつなげてくれたおかげで、今、楽しく生きています。このことを忘れず大切にしたいので、これから歩いていきたいです。

お母さんも赤ちゃんも一生懸命になって生まれてくることは大変だけれど、素晴らしいことだと思いました。自分のいのちがあるのも奇跡だし、今の友達がいるのも奇跡だと思いました。なので、自分のこと、友達のことをもっとも大切にしたいと思いました、これからは親に感謝しながら生きていきたいと思いました。

「自分をほめる」「表現する」「認める」「コントロールする」ことが楽しく生きることに繋がると聞きました。この4つを意識して、より楽しい生活にしていきたいです。

また、自分が思っている以上に大変なことが多いかもしれないけれど、支えてくれている両親、祖父母など、周りの人に感謝したいです。

この「いのちの先生」は、以下の学校でも授業をされています。

- ・魚津市立道下小学校
- ・魚津市立星の杜小学校
- ・富山市立奥田北小学校
- ・富山市立奥田小学校
- ・富山市立三成小学校
- ・富山市立速星小学校